

もうすぐ運動会

園長 原田健次

九月になり夜には秋の虫たちの鳴き声が聞こえるようになりましたが、日中の日差しはまだまだ厳しいものがあります。今月末には子ども達が待ちに待った「運動会」が開催されます。

持子保育園の運動会は、3歳児クラスからの参加です。他園では0歳児からの参加とされているところもありますが、乳児期には、すべての子どもが同じように獲得すべき「育ちの課題」があります。一番大切な睡眠・食事・運動という生活リズムが安定し確立することをねらいとし、一人ひとりの特徴や個性を大切にされた保育をすすめているこの時期の参加は早いと考えています。

私たちは、運動会を一日の楽しいイベントとして捉えるのではなく、日頃の保育の積み重ねとして捉えています。すなわち、保育の一環として行われるものと考えています。運動会の練習となると子ども達にかけられる言葉は「がんばれ、がんばれ」や「ちゃんと応援して」など励ましや行動を急がせたり、奮起させるようなかかわりになってしまい、保育者の思いが先走り、子どもを置き去りにし、子ども主体の取り組みがなされていないことがよくあります。応援すること、勝ちたいこと、演技が上手になってお家の人に見てもらいたいこと等、子どもたちの思いが大切です。私たちは運動会当日の「競技」「演技」の出来栄を優先するのではなく、子どもが主体的に取り組む過程（プロセス）を大切にしたい「保育」を行っていきけるよう努力しています。

3歳児すみれぐみ。かけっこは、自己発揮に満足する子や勝ち負けにこだわる子など育ちの違いはありますが一人ひとりの育ちを受け止めることができるよう担任がゴールで待っています。演技のポンポンは大好きな曲に合わせて楽しんで踊っていますが当日は恥ずかしくて固まったり泣いてしまうかもわかりませんが「その子らしさ」と受け止めて、応援、そして褒めてあげてください。

4歳児きくぐみ。先生と一緒に楽しむという経験から自分たちだけで力を合わせて頑張る経験をしています。2人組競技は勝つことだけが目的ではなく、負けても最後まで諦めないこと、次はどうしたら勝てるか考えたり、もう一度挑戦しようとする意欲を持つことに価値を置き、日々の保育を取り組んでいきたいと思っています。

5歳児うめぐみ。保育園最後の運動会。去年は力を合わせることの大切さを経験しました。今年は一人ひとりの違いを活かした力合わせを経験しています。組体操では、大人が「あなたは上に乗る人」、「あなたは土台」というように役割を決めるのではなく、グループ内でいろいろな役割を何度も経験し、自分たちが納得のできる役割を決めて取り組んでいきたいと思っています。

当日までのクラスの様子の詳細はエピソード集として後日にお知らせいたします。

また、今年の運動会はそれぞれのクラスで親子競技を実施する予定です。内容は事前にお知らせしますので、どうぞ楽しんでいただければ幸いです。